

平成26年2月4日

投資者の皆様へ

T&Dアセットマネジメント株式会社

## 2月4日の弊社投資信託の基準価額の下落について

拝啓 時下ますますご清栄のこととお慶び申し上げます。  
平素は格別のご高配を賜り、厚くお礼申し上げます。

足許の市場動向と弊社投資信託への影響に関しまして、下記の通りご案内いたします。

今後ともお引き立てを賜りますよう、よろしくお願い申し上げます。

敬具

### ◆ 足許の市場動向

2月4日の国内株式市場は、前日の米国において1月のISM(全米供給管理協会)製造業景況指数が市場予想を下回って8ヵ月ぶりの低水準となったことが嫌気され、朝方からほぼ全面安の展開となりました。

新興国経済に対する根強い懸念や、米ドル(対円)レートが一時100円台に乗せる円高米ドル安の展開に加え、週末に予定されている米国の雇用統計が市場予想を下回る懸念が出ていることなどを背景に、市場参加者のリスク回避姿勢に拍車がかかり、日経平均株価は610.66円下落(▲4.2%)の14,008.47円、TOPIX(東証株価指数)は57.05ポイント下落(▲4.8%)の1,139.27ポイントで終わりました。

業種別東証株価指数では、33業種全てがマイナスとなり、非鉄金属、機械、ゴム製品など製造業関連が下落率上位に並ぶ展開となりました。

これら国内株式市場の下落の影響により、2頁目に記載するファンドの基準価額が前日比5%を超えて下落しました。

### ◆ 今後の見通し

本日の国内株式市場の大幅な調整は、新興国経済への懸念が台頭する中で、これまで好調と考えられていた米国でも低水準な経済指標が発表されたことで世界的な景気後退への不安が再燃したことが主な要因と考えられます。

足許で発表が本格化している国内企業の10-12月の四半期決算が概ね堅調な上、アナリストによる東証1部の予想ベース平均PER(株価収益率)は14倍程度(2月4日時点)まで低下したと推測されることから、国内株式は過去比較でも割安な水準にあると思われます。

引き続き、米国や新興国の景気動向や為替動向に注視する必要がありますが、内需を中心に企業業績は順調な回復を見せると共に、来期についても増益基調が継続する可能性が高いと思われるため、国内株式市場の極端な調整は長期化しないものと考えられます。

## ◆ 弊社投資信託への影響

ファンド名	平成 26 年 2 月 3 日 基準価額 (円)	平成 26 年 2 月 4 日 基準価額 (円)	騰落幅 (円)	騰落率 (%)
アクティブ バリュウー オープン	13,323	12,593	▲730	▲5.48
大同リサーチ&アクティブオープン	9,289	8,815	▲474	▲5.10

(小数点第3位以下四捨五入)

## ◆ 市況情報

	平成 26 年 2 月 3 日	平成 26 年 2 月 4 日	騰落率(%)
TOPIX(東証株価指数)	1,196.32	1,139.27	▲4.77

(小数点第3位以下四捨五入)

出所:東京証券取引所

※文中に引用した各インデックス(指数)の商標、著作権、知的財産権およびその他一切の権利は各インデックスの算出元に帰属します。また各インデックスの算出元は、インデックスの内容を変更する権利および発表を停止する権利を有しています。

以上

当資料はT&Dアセットマネジメントが情報提供を目的として作成したものであり、投資勧誘を目的としたものではありません。当資料は当社が信頼性が高いと判断した情報等に基づいて作成したのですが、その正確性・完全性を保証するものではありません。また、当資料で使用するデータは過去の実績もしくは表記時点での予測であり、将来の市場環境動向を保証するものではありません。当資料に記載された意見・見通しは表記時点での当社の判断を反映したものであり、将来の市場環境動向を保証するものではありません。また、将来予告なく変更されることがあります。

## 投資信託のお申込みに際してのご留意事項

### 投資信託に係るリスクについて

投資信託は、株式、債券、投資信託証券など値動きのある有価証券(外貨建資産には為替変動リスクもあります。)に投資しますので、運用実績は市場環境等により変動します。したがって、投資元本が保証されているものではなく、これを割込むことがあります。これら運用による損益は全て投資者に帰属します。

また、投資信託は、個別の投資信託毎に投資対象資産の種類や投資制限、取引市場、投資対象国等が異なることから、リスクの内容や性質が異なりますので、ご投資に当たっては投資信託説明書(交付目論見書)をよくお読みいただき、ご自身でご判断ください。

### 投資信託に係る費用について

#### ◇投資者が直接的に負担する費用

購入時手数料・・・上限 4.2%(税込)

信託財産留保額・・・上限 3.0%

#### ◇投資者が信託財産で間接的に負担する費用

運用管理費用(信託報酬)・・・上限 1.995%(税込)

その他費用・・・上記以外に保有期間に応じてご負担いただく費用があります。

投資信託証券を組み入れる場合には、間接的にご負担いただく費用として、当該投資信託の資産から支払われる運用報酬、投資資産の取引費用等が発生します。これらの間接的な費用のご負担額に関しましては、その時々各投資信託証券の組入比率や取引内容等により金額が変動しますので、事前に料率、上限額等を示すことができません。

※上記の費用の合計額については、投資者がファンドを保有される期間等に応じて異なりますので、表示することができません。

※詳細につきましては必ず「投資信託説明書(交付目論見書)」でご確認ください。

### 《ご注意》

上記に記載しているリスクや費用項目につきましては、一般的な投資信託を想定しております。費用の料率につきましては、T&Dアセットマネジメントが運用するすべての投資信託のうち、徴収するそれぞれの費用における最高の料率を記載しております。

投資信託に係るリスクや費用は、それぞれの投資信託により異なりますので、ご投資される際には、「投資信託説明書(交付目論見書)」の内容をよくお読みください。